

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 3 年 5 月 19 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H01830

研究課題名（和文）時空間情報の次世代分析ツールボックスの開発と応用

研究課題名（英文）Development and Application of next-generation tool box for analyzing temporal-spatial information

研究代表者

浅見 泰司（Asami, Yasushi）

東京大学・大学院工学系研究科（工学部）・教授

研究者番号：10192949

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 30,940,000 円

研究成果の概要（和文）：あいまいな時空間情報概念の整理、あいまいな時空間情報に既存の時空間情報分析を行った時の影響分析、まわり、となりなどの日常的に使われながらも意味があいまいな空間関係の分析ツールの開発、時空間カーネル密度推定手法の開発、歴史地名辞書の構築と応用分析、あいまいな時間の処理方法の提案、古地図と現代地図を重ねるツールの開発、あいまいな3次元地形情報の分析、SNSの言語情報の空間解析、あいまいなイラストマップのGPS連動ツールの開発、スマートフォン位置情報データの分析、アーバンボリュームの測定と応用、あいまいな敷地形状の見える化などの研究成果を得た。

研究成果の学術的意義や社会的意義

2018年9月に空間解析とモデリングに関する国際会議を開催した。数多くの学会誌や学会で研究成果を発表した。古地図を歪めずに現在のWeb地図と重ねることのできる「日本の古地図Maplat」、あいまいな時間情報を可視化するためのjavascriptライブラリ「Web HuTime」を公開した。本研究プロジェクトの成果をまとめて、書籍（浅見泰司・薄井宏行（編著）（2020）『あいまいな時空間情報の分析』古今書院）として出版した。本研究プロジェクトの最終シンポジウムとして、2020年10月25日に地理情報システム学会にて「あいまいな時空間情報を分析するためのツールの開発とその応用」を開催した。

研究成果の概要（英文）：We obtained the following research results: Organization of vague spatiotemporal information concepts; analysis of the influence of vague spatiotemporal information on existing spatiotemporal information analysis methods; development of tools to analyze spatial relationships that are used daily but have ambiguous meanings such as surroundings and neighbors; development of spatiotemporal kernel density estimation method; construction and application of historical place name dictionary; proposal of vague time processing method; development of a tool for superimposing old map and modern map; analysis of vague 3D topographical information; spatial analysis of SNS language information; development of GPS-linked tools for vague illustration maps; analysis of smartphone location information data; measurement and application of urban volume, and visualization of ambiguous lot shapes.

研究分野：都市工学

キーワード：地理情報科学 あいまいな時空間情報 空間関係 カーネル密度 歴史地名 歴史地図 地形 言語情報

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

地理情報を分析するニーズはますます高まっている。高校における地理教育が必修化され、その内容案においても、GISの活用が強調されている。近年、地理情報は大量に整備されてきているが、多くの利用がその検索や表示機能に偏っており、本来行いうる空間情報間の様々な分析は限られている。その理由として、複数の地理情報を扱うことに対するハードルの高さ、手軽な地理情報分析ツール、特に、相互連携したツールに対するハードルの高さが存在している。より高度な分析を手軽に行えるようにするためには、無料で気軽に利用でき、「きれい (= 時空間情報が正確)」でないデータにも適用可能な相互連携している分析ツール群の開発が必須である。

時空間情報の急速な拡大により、これまで想定していなかった新たな種類の時空間情報が流布し始めている。これまでの時空間情報では、ポイント、ライン、ポリゴンないしラスターで代表できる、時点が明確に示される、属性情報項目が明確に決まっておりそこに属性情報が入るという「きれい」な時空間情報を暗黙に仮定してきた。このようなデータの効率的な表現書式として、shape形式がよく知られている。これまでの時空間情報の分析ツールはそのような「きれい」な時空間情報を分析するためのものとして開発されてきた。

ところが、近年の様々な機器のGPS内蔵化などにより、時空間情報が大量に生産されてきた。すなわち、時間情報、空間情報が曖昧であったり、属性情報が空間情報に対応していなかったりという、従来の時空間情報に対して不明確な点を多く持つ。

また、空間や時間に関して曖昧性を有したデータも多い。例えば、テキストマイニングで得られるデータでは、場所や時刻に関する正確な記述がある場合の方が珍しい。文章の場合には、他の文との記述の関係などから、場所や時間に関して曖昧に推測できるにとどまり、あるいは、そのために高度な推論技術を必要とされる場合も少なくない。特に、歴史的な情報を扱う場合に、書誌情報を情報ソースとして時空間情報を形成しなければならないことも多い。この場合に、地理的記述や時間的順序関係から推測をする。このような情報ニーズは地理学以外でも特に地域研究や歴史学でも多く見られ、地域情報学の形成が諮られている。

近年のSNS情報はその情報量が大量となり、その中には多くの曖昧な時空間情報が含まれる。ただし、それらの中には比較的正確な情報が含まれることもある。例えば、発信時刻や時として発信されるGPSによる緯度経度情報などは、それにあたる。情報を引用して発信する文化が形成されていることも多いので、時間的な半順序関係は多々見られ、それを利用して、時間的な順序関係を推測することも可能である。場所についても、現実の交通機関の情報を加味すれば、移動可能範囲は限られ、時間地理学的な技術を適用し、空間範囲を絞ることも可能となる。これにより、比較的「きれい」な時空間情報の構築が可能である。

以上を整理すると、今後求められる分析ツールとして、「きたない (= 「きれい」でない) 時空間情報をそのまま分析できる頑健な手法、「きたない」空間情報を「きれい」な時空間情報に変換する分析手法が求められている。

## 2. 研究の目的

だいたいの場所、だいたいの時間というような曖昧な時空間情報の利用ニーズは多いが、その分析手法は十分に開発されていない。本プロジェクトでは、時空間情報が曖昧な時空間情報を分析するためのツールを体系的に開発し、それを研究者への無料ソフトとして、webで公開し、地理情報分析を行いたい研究者の支援を行うとともに、地理情報処理を行う研究の普及に資する。具体的には、本プロジェクトでは、地理情報分析ツールの体系化、ツール群(ツールボックス)の開発、ツールボックスの実装化と試験的公開、ツールボックスの応用化研究を行う。最終的な成果としては、ツールボックスの公開に加えて、曖昧時空間情報の分析ツールの体系に関する教科書の発刊も行う。

## 3. 研究の方法

「きたない」 (= 曖昧で不正確な) 時空間情報を分析するための手法およびツールの開発を行う。「きたない」時空間データの特性分析およびデータ構造を検討した後、「きたない」時空間データをそのまま分析できる手法、表示する手法、および「きたない」時空間データをより「きれい」な時空間情報に変換するための手法を開発する。前者としては、ポイント、領域、ネットワーク、サーフェスなどの空間情報の分析に加え、時間も加味した、時空間パターン、時空間回帰、時空間移動、空間遷移などの分析手法を開発する。これらの分析手法を体系化し、最終成果としては、それらを教科書にまとめるとともに、汎用分析ツールとして公開し、多分野の研究者の便宜に供する。

## 4. 研究成果

### (1) あいまいな時空間情報分析手法、ツール、データベースの開発

あいまいな時空間情報分析手法、ツール、データベースの開発のために、以下の研究を進めた。

- 空間スケールを明示的に考慮した点分布間の比較および分類を行う方法を開発した。
- あいまいな時間を、年号・年月日それぞれの期間を表すための論理的な基盤の構築を進め、これらのデータを可視化・解析するためのプラットフォームを開発・公開した。
- セミパラメトリック地理的加重回帰法とこれを利用するために開発されたソフトウェアに関する解説および社会調査資料を活用した健康地理学における応用について研究を実施した。
- 地名辞書のオープンデータ化に向けたレポジトリの整備、東南アジアを対象とした地名辞書構築に向けた資料調査とメタデータの設計、時空間情報処理ツールの機能拡張を行った。
- 空間スケールを明示的に考慮した新たな点分布比較・分類手法と、空間スケール次元に関する点分布の集約・可視化手法を開発及び適用を行った。
- 時空間的なカーネルを利用した時空間カーネル密度推定の犯罪研究への応用を示し、GIS環境で実施するための可視化ツールを開発した。
- 空間カーネルを利用して変数間の関連性を探索的に分析する地理的加重回帰法の考え方を開発した。
- あいまいな時間を記述するためのデータ構造と検索や解析を行うための論理構築を行い、時間情報システムHuTimeへ実装を試みた。
- 暦に基づいた時間情報を扱うためのWeb APIを公開した。
- ウェブやSNSから得られる空間データを念頭に、位置情報の対象の曖昧性を解消する手法を提案し、Twitterを対象に評価し概ね良好な結果を得た。
- 2015年国勢調査の小地域統計を用いたGISデータベースの構築、ジオデモグラフィクスの作成を進めた。
- Web上の日本語新聞記事を対象として、データ自動収集、自然言語処理による地名・時間名の自動抽出を行った。
- あいまいな時間の記述および相互比較のための論理を整理及びデータ記述に必要なスキーマを公開した。
- 日本版Map Warperへの約4000枚近い日本の古地図の登録及びジオリファレンス手法の検討を行った。
- アジアにおける急速な都市化を水平的拡大と垂直的拡大の両面からとらえ、アーバンボリュームという概念を提示および測定する手法を考案した。
- 3次元ポイントクラウドデータから、円柱の空間データを抽出する新たな手法の開発および適用を行った。
- 地形などの三次元点群データを編集・計測するソフトウェアを用いたノイズ等の問題を含むデータの有効活用方法の検討を行った。
- 位置情報に曖昧さ・不正確さを含むデータの解析方法の検討を行った。
- きたないデータとしての敷地の面積や形状の統計分布を建物および道路延長密度により推定する方法の構築を行った。
- 地理的制約条件に基づく統計的多次元尺度構成法を開発した。
- 相異なる道路データどうしの位置の違いを測るツールの実装を行った。
- 隣棟関係にある建物を定義する方法として建物代表点( 図心 )を生成元とするドロネ図と建物の平面形状を表す多角形を生成元とするドロネ図を用いる方法の提案および両者による隣棟関係の違いの比較・精査を行った。
- 古地図を歪めずに背景となる Web 地図の中心に合わせて変換を行う Maplat の開発と公開を行った。
- Web 上のビッグデータから地域研究のヒントとなる情報を自動的に抽出・整理・可視化する情報システムの開発試行を行った。
- 時空間的な曖昧さを時空間カーネル関数で表現する時空間カーネル密度推定を GIS 環境で実施するツール Space-Time Density Tool for ArcGIS Pro を公開した。
- 周期性を有する点分布について各周期間の比較等を行う手法および時系列的变化を可視化し定量的に評価する手法を開発した。
- 意味のある時系列軌跡データ集合を生成する手法の研究開発を行った。
- 描画領域内外の接続傾向の提示の観点での曖昧性を改善する可視化手法を提案した。適宜、分析ツールのベータ版を公開するとともに、初年度に構築したテスト用データベースに適用し、改善すべき点を精査して、システムの精緻化を進めた。

- 時空間カーネルを利用した空間的相互作用モデルを開発した。
- Web から収集した記事を地図上に可視化する際の時空間情報処理手法を開発した。
- 地理空間的なネットワークの可視化において曖昧性を改善する可視化手法を開発した。
- GPS データが含む揺らぎや障害物のために生じる無意味な動きを取り除く手法を開発した。
- 点分布の発生と消滅における時空間回避の分析手法を開発した。
- ボロノイ図を応用して都市のさまざまな現象を分析するツールの実装を行った。
- あいまいさを考慮したデジタル標高モデルなどの地形データの活用方法を考察した。

## (2) あいまいな時空間情報の分析

あいまいな時空間情報の分析として、以下の研究を進めた。

- 情報が曖昧な場合の解析手法について検討し、近世絵図から得られる情報から特徴的な空間構造を見出す試みを行った。
- 衛星画像から導出したきたない（曖昧な）土地利用・被覆データをもとに、発展途上地域の都市化を可視化し、将来の空間的拡大を予測する試み手法の検討を行った。
- SNS投稿に場所名として含まれる位置情報に関する曖昧性除去の手法を検討した。また、新しい空間検索手法の本研究課題への適用可能性を検討した。
- 時空間データの解析に関する論文調査を進め、曖昧さを含む時空間データの一例として警視庁が発信する「犯罪発生情報」（メールけいしちょう）を解析用データベースに整理した。
- 衛星画像データにリモートセンシング技術を援用して、土地利用/被覆パターンを導出する手法を検討するとともに、アフリカにおける急成長都市に応用し、都市化の空間的メカニズムを探究した。
- 位置情報に曖昧さ・不正確さを含むデータの例として、近世城下町の絵図・古地図、大学病院のカルテデータを利用できる見込みで提供元と解析方法や内容についての調整を進めた。
- 敷地の図形データを建物と道路の位置関係に基づいて作成し、敷地間口等の確率密度関数と建物棟数密度や道路延長密度等の既存の指標との関係を明らかにした。
- 伊能大図における空間的歪みや精度の定量分析を行った。
- 標本調査に由来するデータの真値からの乖離が空間分析に及ぼす影響の分析を行った。

## (3) 国際会議の開催

2018年9月8日から9日までの期間において、空間解析とモデリングに関する国際会議を開催した。あいまいで不正確な時空間情報等を解析する国内外の研究者100名超が発表・参加したことで、当該分野における我が国のプレゼンス向上と国際交流の活性化が図られた。

## (4) 国際会議での発表

本研究プロジェクトで得られた成果を、国内学会はもとより、Pacific Neighborhood Consortium (PNC); International Medical Geography Symposium; International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences; EPB Symposium: Urban Systems Design; International Conference on Geomorphology; International Conference on Spatial Analysis and Modeling; Annual Meeting of the Association of American Geographers; International Conference on Spatial Analysis and Modeling; International Geodesign Collaboration; IGU Regional Conference; International Association of Geo-informatics; International Cartographic Conference; International Conference on Geocomputation; International Conference on Earth Observations and Societal Impactsなどの国際会議で発表した。

## (5) ツールボックスの公開

古地図を歪めずに現在のWeb地図と重ねることのできる「日本の古地図Maplat」（[maplat.h-gis.jp](http://maplat.h-gis.jp)）、あいまいな時間情報を可視化するためのjavascriptライブラリ「Web HuTime」（<http://www.hutime.jp/>）を公開した。

## (6) 研究成果をもとにした書籍の刊行とシンポジウムの開催

本研究プロジェクトの成果をまとめて、書籍（浅見泰司・薄井宏行（編著）(2020)『あいまいな時空間情報の分析』古今書院）として出版した。また、本研究プロジェクトの最終シンポジウムとして、2020年10月25日に地理情報システム学会の企画セッション「あいまいな時空間情報を分析するためのツールの開発とその応用：「あいまいな時空間情報の分析」出版記念シンポジウム」を開催した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計145件（うち査読付論文 105件 / うち国際共著 19件 / うちオープンアクセス 48件）

1. 著者名 Lukas D. Pohler・Yasushi Asami・Takashi Oguchi	4. 巻 3(2)
2. 論文標題 Urban land use policies for efficient autonomous on-demand transportation? A case study on the Japanese island of Izu Oshima	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Transportation Development and Integration	6. 最初と最後の頁 152-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2495/TDI-V3-N2-152-165	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 西嶋人・浅見泰司	4. 巻 54(3)
2. 論文標題 地理的制約条件に基づく統計的多次元尺度構成法：地理的ベイズ多次元尺度構成法の提案と時間地図への適用	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 826-832
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.54.826	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 山内啓之・小口 高・早川裕弐・瀬戸寿一	4. 巻 14(2)
2. 論文標題 GISの標準コアカリキュラムと知識体系を踏まえた実習用オープン教材の開発と評価	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 E-journal GEO	6. 最初と最後の頁 288-295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4157/ejgeo.14.288	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Flavius Sirbu・Lucian Dragut・Takashi Oguchi・Yuichi Hayakawa・Mihai Micu	4. 巻 6
2. 論文標題 Scaling land-surface variables for landslide detection	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Progress in Earth and Planetary Science	6. 最初と最後の頁 #44(1-13)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40645-019-0290-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuki Iwai・Yuji Murayama	4. 巻 8(10)
2. 論文標題 Geographical Analysis on the Projection and Distortion of IN? 's Tokyo Map in 1817	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISPRS International Journal of Geo-Information	6. 最初と最後の頁 452
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijgi8100452	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥貫圭一・服田帆乃香	4. 巻 18
2. 論文標題 面積按分による沿道世帯数推定方法の比較検討～数値地図を活用して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 172-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本裕貴・奥貫圭一	4. 巻 28
2. 論文標題 一般ボロノイ図を応用した緊急避難場所アクセス圏の分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地理情報システム学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 D-3-2(CD-ROM)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤俊明・奥貫圭一	4. 巻 28
2. 論文標題 オープン系ライブラリを用いたGISで利用可能な線分ボロノイ生成ツールの試作	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地理情報システム学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 E-6-5(CD-ROM)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Peter Jeszenszky・Yoshinobu Hikosaka・Satoshi Imamura・ Keiji Yano	4. 巻 8(9)400
2. 論文標題 Japanese Lexical Variation Explained by Historical Contact Patterns	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISPRS International Journal of Geo-Information	6. 最初と最後の頁 1-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Weite Li・Kenya Shigeta・Kyoko Hasegawa・Liang Li・Motoaki Adachi・Keiji Yano・Satoshi Tanaka	4. 巻 8(9)425
2. 論文標題 Transparent Collision Visualization of Point Clouds Acquired by Laser Scanning	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISPRS International Journal of Geo-Information	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Keiji Yano	4. 巻 666
2. 論文標題 Urban Abandonment and Housing Vacancies in Japanese Local Cities: A Case of Kyo-machiya + Traditional Wooden Town Houses	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Kubo Tomoko・Yui Yoshimichi (Eds.) The Rise in Vacant Housing in Post-growth Japan Housing Market + Urban Policy + and Revitalizing Aging Cities + Springer	6. 最初と最後の頁 111-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司	4. 巻 666
2. 論文標題 ジオコーディングのための京都市の住所表記に関する現状と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 立命館文學	6. 最初と最後の頁 30-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shoichiro Hara; Tatsuki Sekino	4. 巻 15(2)
2. 論文標題 Digital Gazetteer as a Knowledgebase for Open Data Science	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Geoinformatics	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuki Sekino	4. 巻 15(2)
2. 論文標題 Using Uncertain Time Intervals in Linked Data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Geoinformatics	6. 最初と最後の頁 15-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuki Sekino	4. 巻 -
2. 論文標題 HuTime Ontology to Represent Uncertain Time Intervals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of Workshop "Ontologies for Linked Data in the Humanities", Digital Humanities Conference 2019	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関野 樹	4. 巻 -
2. 論文標題 時間名による時間参照基盤の構築 - Linked Dataを用いた期間の記述とリソース化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 情報処理学会シンポジウムシリーズ じんもんこん 2019 論文集	6. 最初と最後の頁 267-272
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Tatsuki Sekino	4. 巻 28
2. 論文標題 Data description and retrieval using periods represented by uncertain time intervals	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Information Processing	6. 最初と最後の頁 91-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2197/ipsjjip.28.91	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Usui Hiroyuki・Asami Yasushi	4. 巻 43(3)
2. 論文標題 Size distribution of building lots and density of buildings and road networks: theoretical derivation based on Gibrat's law and empirical study of downtown districts in Tokyo	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Regional Science Review	6. 最初と最後の頁 229-253
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0160017619826270	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usui Hiroyuki・Teraki Akihiro・Okunuki Kei-ichi・Satoh Toshiaki	4. 巻 online first
2. 論文標題 A Comparison of neighbourhood relations based on ordinary Delaunay diagrams and area Delaunay diagrams: an application to define the neighbourhood relations of buildings	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Geographical Information Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13658816.2020.1748191	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金洪稷・樋野公宏・薄井宏行・花里真道・高木大資・近藤尚己・近藤克則	4. 巻 54(3)
2. 論文標題 高齢者の趣味活動・スポーツ参加と近隣施設密度の関係 -名古屋市におけるJAGESのパネルデータを用いて-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1490-1495
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.54.1490	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本和也・薄井宏行・浅見泰司	4. 巻 54(3)
2. 論文標題 路線バスにおける総所要時間最小化によるフリー乗降区間の配置 -横浜市青葉区東急バスみたけ台線への応用-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 688-695
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.54.688	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Usui Hiroyuki	4. 巻 46(8)
2. 論文標題 Statistical distribution of building lot depth: theoretical and empirical investigation of downtown districts in Tokyo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Environment and Planning B: Urban Analytics and City Science	6. 最初と最後の頁 1499-1516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/2399808319840366	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usui Hiroyuki	4. 巻 77
2. 論文標題 A bottom-up approach for delineating urban areas minimizing the connection cost of built clusters: Comparison with top-down-based densely inhabited districts	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Computers, Environment and Urban Systems	6. 最初と最後の頁 101363
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.compenvurbsys.2019.101363	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usui Hiroyuki	4. 巻 -
2. 論文標題 Building height distribution under zoning regulation: theoretical derivation based on Gibrat's Law and allometric scaling analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The 21st European Colloquium on Theoretical and Quantitative Geography (ECTQG), Book of Abstracts	6. 最初と最後の頁 211-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行・樋野公宏	4. 巻 84(762)
2. 論文標題 高齢者の歩行特性を考慮した休憩施設の密度と最長継続歩行距離 東京駅および大手町駅周辺地区を対象に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 1779-1787
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.84.1779	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行	4. 巻 54(1)
2. 論文標題 消防活動困難区域の定義再考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 64-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.54.64	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行	4. 巻 -
2. 論文標題 最近隣距離が短すぎず最大近隣距離が長すぎない点密度	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 2020年日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集	6. 最初と最後の頁 90-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行	4. 巻 -
2. 論文標題 都市は本当にスポンジ化しているのか：千葉県を対象に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 CSIS DAYS 2019 全国共同利用研究発表大会 研究アブストラクト集	6. 最初と最後の頁 42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行	4. 巻 -
2. 論文標題 都市計画の基礎理論としての建物棟数密度と道路延長密度	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年度日本建築学会大会(北陸) 建築計画部門研究懇談会「建築・都市・農村計画研究者の方法論的転換 若手研究者・実務家はいかに社会的課題と向き合っているか」資料集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行	4. 巻 -
2. 論文標題 最大近隣距離分布の導出と第6近隣距離分布との比較	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集	6. 最初と最後の頁 190-191
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行	4. 巻 -
2. 論文標題 敷地の規模・形状の多様性と法則性 - 道路延長密度と建物棟数密度を基礎とする都市空間の性能規定化への示唆 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会 多世代共創社会に向けた建築・都市システム [若手奨励] 特別研究委員会最終報告書	6. 最初と最後の頁 25-28
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 HARA S and Sekino T	4. 巻 15(2)
2. 論文標題 Digital Gazetteer as Knowledgebase for Open Data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Geoinformatics	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 HARA S・YAMADA T・ISHUKAWA M・Shirai K・KAMEDA A・MORI S	4. 巻 15(2)
2. 論文標題 Prototyping Information System to Extract Area Study Information form Web Big Data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Geoinformatics	6. 最初と最後の頁 57-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shoichiro HARA and Akihiro KAMEDA	4. 巻 -
2. 論文標題 MyDatabase: an information tool for facilitating dissemination of academic research data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the 9th Asia-Pacific Conference on Library&Informatin Education and Practice[A-LIEP 2019]International Journal of Geoinformatics	6. 最初と最後の頁 159-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原正一郎・山田太造・石川正敏・白井圭佑・亀田堯寛・森信介	4. 巻 2019(1)
2. 論文標題 We bビッグデータからの地域研究情報抽出の試み (第二報)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人文科学とコンピュータシンポジウム論文集	6. 最初と最後の頁 315-320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松田正己・カニタ・ヌンタボット・原正一郎・太田勝正・ピラボン・ブンサワディグルチャイ・ウルスラ・フレイ・反町吉秀	4. 巻 30(1)
2. 論文標題 地域保険における脆弱性と災害時レジリエンス (自然回復力) について - 東日本大震災における青森県の防災対策、保健師ガイドラインの例から -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 生存科学	6. 最初と最後の頁 15-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hideyuki Fujita/Shota Sagara/Tadashi Ohmori/Takahiko Shintani	4. 巻 2
2. 論文標題 Finding hotspots by location-direction-enabled photographs focusing on intersection of lines of sight	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the International Cartographic Association	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/ica-proc-2-35-2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Y Sadahiro & Y Liu	4. 巻 76
2. 論文標題 Statistical analysis of spatial segregation of points	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Computers, Environment and Urban Systems	6. 最初と最後の頁 123-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.compenvurbsys.2019.04.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 森岡渉・岡部篤行・貞広幸雄	4. 巻 49(1)
2. 論文標題 ジニ係数を活用した店舗立地の時空間分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本統計学会誌	6. 最初と最後の頁 115-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小池束紗・貞広幸雄・對間昌宏	4. 巻 27(1)
2. 論文標題 東京都区部における建物名称に用いられる地名の滲出現象	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 GIS - 理論と応用 -	6. 最初と最後の頁 25-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Perez, J, Y Sadahiro & G Fusco	4. 巻 -
2. 論文標題 Urban Perforation and Regeneration in Japan: The relationship between Urbanization Characteristics, Network Centrality and Population Distribution	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Paper presented at European Colloquium on Theoretical and Quantitative Geography 2019, Luxembourg, September 2019	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 和田吉史・薄井宏行・貞広幸雄・樋野公宏	4. 巻 -
2. 論文標題 GPS データを利用した都市の中心拠点の利用者分布の可視化：千葉市における人の動きに基づく拠点設定の提案	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年度 都市計画学会都市計画報告会, 横浜	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimihiro Hino, Masaya Uesugi, Yasushi Asami	4. 巻 54(1)
2. 論文標題 Official Crime Rates and Residents' Sense of Security Across Neighborhoods in Tokyo, Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Urban Affairs Review	6. 最初と最後の頁 165-189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1078087416667619	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Usui, Yasushi Asami	4. 巻 32(1)
2. 論文標題 Size distribution of urban blocks in the Tokyo Metropolitan Region: estimation by urban block density and road width on the basis of normative plane tessellation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Geographical Information Science	6. 最初と最後の頁 120-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13658816.2017.1384550	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 樋野公宏, 三輪茉莉香, 浅見泰司, 對間昌宏	4. 巻 746
2. 論文標題 都市施設への近接性と歩数の関係: 定年退職前後の世代による違いに着目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 687-693
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.83.687	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 蛭田有希, 浅見泰司	4. 巻 102
2. 論文標題 ヘドニック回帰分析におけるモデル選択に対する情報提供を目的とした多重共線性のリスク診断	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市住宅学	6. 最初と最後の頁 113-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Taima, Yasushi Asami	4. 巻 onlinefirst
2. 論文標題 Estimation of average place attachment level in a region of Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 GeoJournal	6. 最初と最後の頁 onlinefirst
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10708-018-9927-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮川大輝, 浅見泰司, 樋野公宏, 對間昌宏, 薄井宏行	4. 巻 53(3)
2. 論文標題 東京都区部における建物更新の起こりやすさと住環境: 建物・立地・居住者等に注目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1485-1490
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 奥貫圭一	4. 巻 53(3)
2. 論文標題 建物周り建ぺい率のばらつきに関する街区と沿道領域との比較検討～基盤地図情報と数値地図を活用して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1491-1498
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関野 樹・原 正一郎	4. 巻 2018-CH-118(9)
2. 論文標題 デジタル歴史地名辞書の公開とその活用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuki Sekino	4. 巻 none
2. 論文標題 Representation and comparison of uncertain temporal data based on duration	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the 2018 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC)	6. 最初と最後の頁 none
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2018.8579465	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大内 英範・後藤 真・鈴木 卓治・関野 樹	4. 巻 none
2. 論文標題 RDF版「人名一覧」の構築 LinkedDataによる人文学のための基盤データ整備	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会シンポジウムシリーズ じんもんこん 2018	6. 最初と最後の頁 23-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 関野 樹	4. 巻 none
2. 論文標題 Linked Data におけるあいまいな時間の記述	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会シンポジウムシリーズ じんもんこん 2018	6. 最初と最後の頁 303-308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chen H.・Oguchi T.・Wu P.	4. 巻 11
2. 論文標題 Morphometric analysis of sinkholes using a semi-automatic approach in Zhijin County, China	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Arabian Journal of Geosciences	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12517-018-3764-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chen C.-W.・Tung Y.-S.・Liou J.-J.,・Li H.-C.・Cheng C.-T.・Chen Y.-M.・Oguchi T.	4. 巻 175
2. 論文標題 Assessing landslide characteristics in a changing climate in northern Taiwan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Catena	6. 最初と最後の頁 263-277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.catena.2018.12.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakata Y.・Hioki Y.・Oguchi T.	4. 巻 14
2. 論文標題 Evaluation of beach vegetation for conservation/rehabilitation in Tottori Prefecture, Southwest Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Landscape and Ecological Engineering	6. 最初と最後の頁 231-243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11355-017-0344-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Daisuke Murakami, Binbin Lu, Paul Harris, Chris Brunson, Martin Charlton, Tomoki Nakaya & Daniel A. Griffith	4. 巻 109
2. 論文標題 The Importance of Scale in Spatially Varying Coefficient Modeling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of the American Association of Geographers	6. 最初と最後の頁 50-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/24694452.2018.1462691	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 雨宮護・島田貴仁・中谷友樹・樋野公宏・高橋あい	4. 巻 17
2. 論文標題 子供・女性に対する脅威事案は性犯罪等のリスクを高めるか? - 子供・女性の性犯罪等における先行指標の検討 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 216-222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷友樹	4. 巻 84
2. 論文標題 犯罪学の更なる発展に向けて 学際的・実践的連携を考える 地域社会と犯罪防止 地理学(地理情報科学)の立場から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 犯罪学雑誌	6. 最初と最後の頁 65-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y Sadahiro & Y Liu	4. 巻 none
2. 論文標題 A scale-sensitive approach for comparing and classifying point distributions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Spatial Science	6. 最初と最後の頁 none
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14498596.2018.1492466	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y Sadahiro	4. 巻 53(3)
2. 論文標題 Summarization and visualization of point distributions over spatial scale dimension	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cartographica	6. 最初と最後の頁 185-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3138/cart.53.3.2017-0023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y Sadahiro & Y Wang	4. 巻 61(2)
2. 論文標題 Configuration of sample points for the reduction of multicollinearity in regression models with distance variables	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Annals of Regional Science	6. 最初と最後の頁 295-317
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00168-018-0868-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y Sadahiro	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 Analysis of the appearance and disappearance of point objects over time	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Geographical Information Science	6. 最初と最後の頁 215-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13658816.2018.1538517	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 A Nurunnabi, Y Sadahiro & DF Laefer	4. 巻 81
2. 論文標題 Robust statistical approaches for circle fitting in laser scanning three-dimensional point cloud data	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pattern Recognition	6. 最初と最後の頁 417-431
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.patcog.2018.04.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 A Nurunnabi ,Y Sadahiro, R Lindbergh & D Belton	4. 巻 none
2. 論文標題 Robust cylinder fitting in laser scanning point cloud data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Measurement	6. 最初と最後の頁 none
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.measurement.2019.01.095	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shoichiro Hara, Tatsuki Sekino	4. 巻 none
2. 論文標題 Digital Gazetteer as a Knowledgebase for Open Data Science (2nd Report)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC) in IEEE Explore	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2018.8579466	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mamoru Shibayama, Susumu Morimoto, Akiko Tashiro, Akihiro Kameda, Taizo Yamada, Shoichiro Hara	4. 巻 none
2. 論文標題 Building an Ontology-Oriented Archaeological Knowledge-Base " ArcOnBase " in Mainland Southeast Asia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC) in IEEE Explore	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2018.8579462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原正一郎, 山田太造, 石川正敏, 白井圭佑, 亀田堯宙, 森信介	4. 巻 2018(1)
2. 論文標題 Webビッグデータからの地域研究情報抽出の試み	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人文化学とコンピュータシンポジウム論文集, 情報処理学会シンポジウムシリーズ	6. 最初と最後の頁 365-372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Salat H., Murcio R., Yano K., Arcaute E.	4. 巻 13(4)
2. 論文標題 Uncovering inequality through multifractality of land prices: 1912 and contemporary Kyoto	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 none
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0196737	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上杉昌也・矢野桂司	4. 巻 70(2)
2. 論文標題 ジオデモグラフィクスからみた教育水準の学校間格差の評価: 大阪市を事例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 253-271
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司	4. 巻 70(3)
2. 論文標題 学会展望「数理・計量・地理情報」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 374-377
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司	4. 巻 63(12)
2. 論文標題 英国の地図事情	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地理	6. 最初と最後の頁 18-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司・佐藤弘隆	4. 巻 70(2)
2. 論文標題 京町家の空き家の現状と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 9-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Handayani, H.H., Murayama, Y., Ranagalage, M., Liu, F., Dissanayake, DMSLB.	4. 巻 10(10)
2. 論文標題 Geospatial analysis of horizontal and vertical urban expansion using multi-spatial resolution data: A case study of Surabaya, Indonesia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 1559
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ranagalage, M., Murayama, Y.	4. 巻 14
2. 論文標題 Measurement of urban built-up volume using remote sensing data and geospatial techniques	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Tsukuba Geoenvironmental Sciences	6. 最初と最後の頁 19-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ranagalage, M., Estoque, R.C., Handayani, H.H., Zhang, X., Morimoto, T., Tadono, T., Murayama, Y.	4. 巻 10(7)
2. 論文標題 Relation between urban volume and land surface temperature: A comparative study of planned and traditional cities in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 2366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Usui, H.	4. 巻 20(3)
2. 論文標題 Statistical distribution of building lot frontage: application for Tokyo downtown districts	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Geographical Systems	6. 最初と最後の頁 295-316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10109-018-0268-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usui, H.	4. 巻 20(4)
2. 論文標題 Estimation of geometric route distance from its topological distance: application to narrow road networks in Tokyo	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Geographical Systems	6. 最初と最後の頁 387-412
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10109-018-0276-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usui, H. and Asami, Y.	4. 巻 onlinefirst
2. 論文標題 Size distribution of building lots and density of buildings and road networks: theoretical derivation based on Gibrat's law and empirical study of downtown districts in Tokyo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Regional Science Review	6. 最初と最後の頁 onlinefirst
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0160017619826270	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行・寺木彰浩	4. 巻 53(3)
2. 論文標題 建物棟数密度の減少による延焼確率の減少効果 正方形敷地の仮定に基づく延焼確率分布の導出及び密集市街地における延焼リスク評価への応用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1507-1514
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.1507	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 薄井宏行・樋野公宏	4. 巻 83(748)
2. 論文標題 継続歩行距離と休憩施設の密度基準 東京駅および大手町駅周辺地区を対象に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 1049-1056
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.83.1049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行	4. 巻 83(745)
2. 論文標題 街区パターンの多様さが街区面積の多様さに及ぼす影響 正方格子状パターンの仮定の緩和	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 475-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.83.475	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuki Sekino	4. 巻 none
2. 論文標題 Basic linked data resource for temporal information	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of the 2017 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC)	6. 最初と最後の頁 76-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関野 樹	4. 巻 2017-12-02
2. 論文標題 暦に関するWeb API - 暦法の変換と期間の計算	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 情報処理学会シンポジウムシリーズ	6. 最初と最後の頁 23-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大山智也, 雨宮護, 島田貴仁, 中谷友樹	4. 巻 25
2. 論文標題 地理的犯罪予測研究の潮流	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 GIS - 理論と応用	6. 最初と最後の頁 33-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中谷友樹, 米島万有子, 崔明姫	4. 巻 11
2. 論文標題 全国調査からみた文化財保有社寺における犯罪被害	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歴史都市防災論文集	6. 最初と最後の頁 25-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 増田耕平, 貞広幸雄, 樋野公宏, 薄井宏行	4. 巻 83
2. 論文標題 植木鉢の表出を促す道路空間の物的環境要因	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 447-453
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sadahiro, Yukio	4. 巻 -
2. 論文標題 Descriptive measures of point distributions summarized with respect to spatial scale in visualization	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cartographica	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない, 又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Usui	4. 巻 -
2. 論文標題 Statistical distribution of building lot frontage: Application for Tokyo downtown districts	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Geographical Systems	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10109-018-0268-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行, 樋野公宏	4. 巻 83
2. 論文標題 継続歩行距離と休憩施設の密度基準 東京駅および大手町駅周辺地区を対象に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Usui, Yasushi, Asami	4. 巻 32
2. 論文標題 Size distribution of urban blocks in the Tokyo Metropolitan Region: estimation by urban block density and road width on the basis of normative plane tessellation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Geographical Information Science	6. 最初と最後の頁 120-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13658816.2017.1384550	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行	4. 巻 83
2. 論文標題 街区パターンの多様さが街区面積の多様さに及ぼす影響 正方格子状パターンの仮定の緩和	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 475-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.83.475	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行, 寺木彰浩, 浅見泰司	4. 巻 -
2. 論文標題 延焼確率の確率密度関数と建物棟数密度	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018年日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集	6. 最初と最後の頁 110-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行	4. 巻 26
2. 論文標題 道路延長と街区総数	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地理情報システム学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行, 樋野公宏, 真鍋陸太郎	4. 巻 26
2. 論文標題 GIS操作法の教育の現状と課題 -東京大学工学部都市工学科の演習におけるArcGISとQGISの同時教育を通じて-	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地理情報システム学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 薄井宏行	4. 巻 -
2. 論文標題 継続歩行距離と休憩施設の密度基準	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 2017年日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集	6. 最初と最後の頁 176-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Simwanda, M. and Murayama, Y	4. 巻 39
2. 論文標題 Spatiotemporal patterns of urban land use change in the rapidly growing city of Lusaka, Zambia: Implications for sustainable urban development	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sustainable Cities and Society	6. 最初と最後の頁 262-274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hideyuki Fujita	4. 巻 52
2. 論文標題 Information Extraction and Visualization from Twitter Considering Spatial Structure	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal for Geographic Information and Geovisualization (Cartographica)	6. 最初と最後の頁 178-193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3138/cart.52.2.3875	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Keiji Yano and Satoshi Tanaka	4. 巻 Volume XLII-2/W7
2. 論文標題 Collision Visualization of a Laser-Scanned Point Cloud of Streets and a Festival Float Model used for the Revival of a Traditional Procession Route	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司	4. 巻 565
2. 論文標題 日本の古地図のポータルサイト構築に関する一考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 立命館文学	6. 最初と最後の頁 42-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司	4. 巻 19
2. 論文標題 ハーバード大学の地理学とGISの盛衰と展開	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 理論地理学ノート	6. 最初と最後の頁 55-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河角直美, 矢野桂司, 山本峻平	4. 巻 90
2. 論文標題 二つの『京都市明細図』の概要とそのGISデータベースの構築 京都府立総合資料館所蔵本と長谷川家住宅所蔵本	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地理学評論	6. 最初と最後の頁 390-400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上杉昌也, 矢野桂司	4. 巻 70
2. 論文標題 ジオデモグラフィクスからみた教育水準の学校間格差の評価: 大阪市を事例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上杉昌也, 樋野公宏, 矢野桂司	4. 巻 13
2. 論文標題 ジオデモグラフィクスによる社会地区類型を活用した窃盗犯の発生要因に関する小地域分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 E-journal GEO	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上杉昌也, 矢野桂司	4. 巻 19
2. 論文標題 すまいの耐震化の普及・啓発におけるジオデモグラフィクスの活用: 京都市を事例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 京都歴史災害研究	6. 最初と最後の頁 39-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上杉昌也, 矢野桂司	4. 巻 25
2. 論文標題 個人の交通行動と近隣環境に関するジオデモグラフィクス分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 GIS-理論と応用	6. 最初と最後の頁 11-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上杉昌也, 矢野桂司	4. 巻 26
2. 論文標題 すまいの耐震化の普及・支援のためのジオデモグラフィクスの活用	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地理情報システム学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司, 鎌田遼	4. 巻 26
2. 論文標題 日本版Map Warperの構築と活用	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地理情報システム学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋彰, 河角直美, 矢野桂司, 山路正憲, 山本俊平, 佐藤弘隆, 今村聡	4. 巻 26
2. 論文標題 クラウドソーシングを活用した写真資料(古写真)の地理情報等の同定方法の検討とその課題 - 京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例として -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地理情報システム学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木和人, 矢野桂司, 中谷友樹	4. 巻 26
2. 論文標題 京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地理情報システム学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本峻平, 佐藤弘隆, 高橋彰, 河角直美, 井上学, 矢野桂司	4. 巻 24
2. 論文標題 デジタルアーカイブ写真のGIS化とその活用 - 「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築 -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 人文科学とコンピュータシンポジウム論文集(情報処理学会シンポジウムシリーズ)	6. 最初と最後の頁 31-36
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本峻平, 高橋彰, 佐藤弘隆, 河角直美, 矢野桂司, 井上学, 北本朝展	4. 巻 93
2. 論文標題 古写真データベースのまちあるきへの活用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本地理学会発表要旨集	6. 最初と最後の頁 57
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Shoichiro Hara	4. 巻 -
2. 論文標題 Digital gazetteer as a knowledgebase for open data science	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of the2017 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2017.8203524	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kameda, Akihiro; Hara, Shoichiro	4. 巻 -
2. 論文標題 Constructing Linked Knowledge around Southeast Asian Studies	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Digital Humanities 2017 Conference Abstracts	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa, Y.S., Yoshida, H., Dragut, L., Oguchi, T.	4. 巻 61
2. 論文標題 Automated extraction of hummocks in debris avalanche deposits using DEMs: A case study at Mt. Gassan, northwest Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Zeitschrift fur Geomorphologie, Supplementary Issues	6. 最初と最後の頁 199-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1127/zfg_suppl/2017/0361	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Chen, C.W., Saito, H., and Oguchi, T.	4. 巻 14
2. 論文標題 Analyzing rainfall-induced mass movements in Taiwan using the soil water index	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Landslides	6. 最初と最後の頁 1031-1041
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10346-016-0788-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masahiro Taima, Yasushi Asami, Kimihiro Hino	4. 巻 -
2. 論文標題 The relation between block size and building shape	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Environment and Planning B: Urban Analysis and City Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/2399808317702897	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Taima, Yasushi Asami, Kimihiro Hino	4. 巻 -
2. 論文標題 Influential Factors of Building Footprint Location and Prediction of Office Shape in City Blocks in Tokyo 's Commercial Zones	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Spatial Data Handling in Big Data Era (Selected Papers from the 17th IGU Spatial Data Handling Symposium 2016)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-10-4424-3_14	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 貞広幸雄	4. 巻 51
2. 論文標題 複数の点分布を比較・分類する手法	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 929-936
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鶴田未奈美, 貞広幸雄	4. 巻 25
2. 論文標題 観光施設における混雑緩和のための制度が観光客の行動に与える影響	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 地理情報システム学会2016年学術研究発表大会	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷友樹	4. 巻 650
2. 論文標題 セミパラメトリックGWRモデリングによる空間分析 - 社会関係と主観的健康の関連性にみられる地域差 -	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 立命館文学	6. 最初と最後の頁 283-297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa, M., Yokoyama, T., Nakaya, T., Fukuda, Y., Takemi, Y., Kusama, Y., Yoshiike, N., Nozue, M., Yoshida, K., Murayama, N	4. 巻 20
2. 論文標題 Food accessibility and perception of shopping difficulty among elderly People living alone in Japan	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Nutr Health Aging2016	6. 最初と最後の頁 904-911
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yagihashi T, Otani T, Nakaya T, Tani N, Sato T, Abd Rahman K & Niiyama K.	4. 巻 28
2. 論文標題 Suitable habitats for the establishment of Shorea curtisii seedlings in a primary hill forest in Malaysia	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Tropical Forest Science	6. 最初と最後の頁 353-358
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishikawa M, Takemi Y, Yokoyama T, Kusama K, Fukuda Y, Nakaya T, Nozue M, Yoshiike N, Yoshida K, Hayashi F, Murayama N	4. 巻 -
2. 論文標題 “Eating together” is associated with food behaviors and demographic factors of older Japanese people who live alone	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Nutrition, Health & Aging	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishikawa M, Yokoyama T, Takemi Y, Fukuda Y, Nakaya T, Kusama K, Yoshiike N, Nozue M, Yoshiba K, Murayama N	4. 巻 -
2. 論文標題 Association between satisfaction with state of health and meals, physical condition and food diversity, health behavior, and perceptions of shopping difficulty among older people living alone in Japan	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Nutrition, Health & Aging	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nozue M, Ishikawa M, Takemi Y, Kusama K, Fukuda Y, Yokoyama T, Nakaya T, Nishi N, Yoshiba K, Murayama N	4. 巻 -
2. 論文標題 Prevalence of inadequate nutrient intake in Japanese community-dwelling older adults who live alone	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Nutritional Science and Vitaminology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷崎友紀, 中谷友樹	4. 巻 10
2. 論文標題 近年の新聞報道からみた社寺における盗難と火災	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 歴史都市防災論文集	6. 最初と最後の頁 67-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukuda, Y., Ishikawa, M., Yokoyama, T., Hayashi, T., Nakaya, T., Takemi, Y., Kusama, K., Yoshiike, N., Nozue, M., Yoshiba, K., Murayama, N	4. 巻 -
2. 論文標題 Physical and social determinants of dietary variety among elderly living alone in Japan	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷友樹	4. 巻 61
2. 論文標題 犯罪予防にGISを活かす	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 地理	6. 最初と最後の頁 42-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷友樹, 埴淵知也	4. 巻 16
2. 論文標題 健康リスクの地域較差と居住地域の貧困	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 貧困研究	6. 最初と最後の頁 5-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷端郷, 米島万有子, 福田一史, 中谷友樹, 細井浩一	4. 巻 28
2. 論文標題 大規模災害発生時の帰宅困難に関わる学生の認知距離	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 立命館地理学	6. 最初と最後の頁 39-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 埴淵知哉, 中谷友樹	4. 巻 66
2. 論文標題 地域のウォークアビリティとソーシャル・キャピタル	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 体育の科学	6. 最初と最後の頁 805-810
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Estoque, R.C., Murayama, Y., Myint, S.W	4. 巻 -
2. 論文標題 Effects of landscape composition and pattern on land surface temperature: An urban heat island study in the megacities of Southeast Asia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Science of the Total Environment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Estoque, R.C., Murayama, Y	4. 巻 72
2. 論文標題 A worldwide country-based assessment of social-ecological status (c. 2010) using the social-ecological status index	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Ecological Indicators	6. 最初と最後の頁 605-614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司	4. 巻 650
2. 論文標題 GISをベースとした国勢調査のデータ公開の現状と課題 日本と英国の比較を通して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 立命館文学	6. 最初と最後の頁 263-282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関野樹	4. 巻 -
2. 論文標題 コンピューターによる時間情報の記述と活用・国立歴史民俗博物館編 総合資料学 の挑戦 異分野融合研究の最前線	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 吉川弘文館	6. 最初と最後の頁 76-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sekino, Tatsuki	4. 巻 4
2. 論文標題 Time Information System Web HuTime: Comparison with Existing Web Applications	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Asian Network for GIS-based Historical Studies	6. 最初と最後の頁 62-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関野樹	4. 巻 2016
2. 論文標題 Web HuTime - 時間情報のためのWebプラットフォーム	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 情報処理学会シンポジウムシリーズ	6. 最初と最後の頁 125-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関野樹	4. 巻 2016-CH-111
2. 論文標題 Web上での時間情報システムHuTimeの利用	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 情報処理学会研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奥貫圭一	4. 巻 51
2. 論文標題 建物周り建べい率の算出～基盤地図情報を活用して	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 493-500
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 児玉史, 奥貫圭一	4. 巻 25
2. 論文標題 次世代歴史GISへ向けた空間分析手法の検討 近世高知城下町を事例に	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 地理情報システム学会2016年学術研究発表大会	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥貫圭一	4. 巻 -
2. 論文標題 歴史地理研究部門の成果と歴史GISの今後	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター報告 2016	6. 最初と最後の頁 141-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hideyuki Fujita	4. 巻 52
2. 論文標題 Information Extraction and Visualization from Twitter Considering Spatial Structure	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal for Geographic Information and Geovisualization (Cartographica)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 邱原, 大森匡, 新谷隆彦, 藤田秀之	4. 巻 Vol. J99-D
2. 論文標題 m-最近接空間キーワード検索における探索優先順制御とタイトな下界値を用いた高速化手法の提案	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 電子情報通信学会論文誌	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 對間昌宏, 浅見泰司, 樋野公宏, 森岡涉	4. 巻 24
2. 論文標題 東京都心商業地域における街区内の建蔽部分の規定要因とその推定	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 GIS - 理論と応用	6. 最初と最後の頁 85-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計171件 (うち招待講演 28件 / うち国際学会 66件)

1. 発表者名 Ikuho Yamada
2. 発表標題 Influence of uncertain address information on spatial statistical analysis
3. 学会等名 The fourth Symposium of International Association of Geo-informatics (IAG'i) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小坪将輝, 磯田弦, 中谷友樹
2. 発表標題 放射モデルの予測精度の検討: アメリカ合衆国における追試研究
3. 学会等名 第28回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 島田 貴仁, 齊藤 知範, 山根 由子, 中谷 友樹
2. 発表標題 犯罪オープンデータ: 個票の時空間分析の可能性と課題
3. 学会等名 第28回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Joseph Percival, Narumasa Tsutsumida, Daisuke Murakami, Takahiro Yoshida, Tomoki Nakaya
2. 発表標題 Exploring spatial scale by interactive map for geographically weighted correlation
3. 学会等名 第28回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomoki Nakaya, Kazumasa Hanaoka, Shohei Nagata
2. 発表標題 Space-time mapping of historical plague epidemics in modern Osaka, Japan
3. 学会等名 International Cartographic Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Narumasa Tsutsumida, Joseph Percival, Daisuke Murakami, Takahiro Yoshida, Tomoki Nakaya
2. 発表標題 Interactive mapping for geographically weighted correlation in big census data
3. 学会等名 International Cartographic Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsutsumida N., Murakami D., Yoshida T., Nakaya T., Lu B., and P. Harris
2. 発表標題 Geographically Weighted Non-negative Principal Component Analysis for Exploring Spatial Variation in Multidimensional Composite Index
3. 学会等名 the 15th International Conference on Geocomputation (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Murakami D., Tsutsumida N., Yoshida T., Nakaya T. and Lu B.
2. 発表標題 Scalable geographically weighted regression for big data
3. 学会等名 the 15th International Conference on Geocomputation (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小坪将輝, 中谷友樹
2. 発表標題 空間的相互作用モデルにおける介在機会の新たな定式化 - 日本の通勤流動と人口移動を対象として -
3. 学会等名 日本地理学会2020年春季学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takashi Oguchi・Thad A Wasklewicz
2. 発表標題 Development of terrain modeling and GIS in relation to earth and space science
3. 学会等名 American Geophysical Union Fall Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi Oguchi
2. 発表標題 Relationships between natural hazards and geospatial technology in Japan and their importance in geographical education
3. 学会等名 International Conference on Earth Observations and Societal Impacts (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuji Murayama・Yuki Iwai
2. 発表標題 Geographical Change of the Japanese National Land in the 200 Years Using INO's Map with GIS
3. 学会等名 29th International Cartographic Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥貫圭一・服田帆乃香
2. 発表標題 面積按分による沿道世帯数推定方法の比較検討～数値地図を活用して
3. 学会等名 都市計画報告集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本裕貴・奥貫圭一
2. 発表標題 一般ボロノイ図を応用した緊急避難場所アクセス圏の分析
3. 学会等名 地理情報システム学会講演論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤俊明・奥貫圭一
2. 発表標題 オープン系ライブラリを用いたGISで利用可能な線分ボロノイ生成ツールの試作
3. 学会等名 地理情報システム学会講演論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥貫圭一・服田帆乃香
2. 発表標題 面積按分による沿道世帯数推定方法の比較検討～数値地図を活用して
3. 学会等名 日本都市計画学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本裕貴・奥貫圭一
2. 発表標題 一般ボロノイ図を応用した緊急避難場所アクセス圏の分析
3. 学会等名 地理情報システム学会第28回（2019年度）学術研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤俊明・奥貫圭一
2. 発表標題 オープン系ライブラリを用いたGISで利用可能な線分ボロノイ生成ツールの試作
3. 学会等名 地理情報システム学会第28回（2019年度）学術研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keiji Yano・Satoshi Imamura・Ryo Kamata
2. 発表標題 Japanese Map Warper for Spatial Humanities: The Japanese old maps portal site
3. 学会等名 International Cartographic Conference 2019 Tokyo (国際学会) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naomi Kawasumi・Hiroataka Sato・Shunpei Yamamoto・Keiji Yano
2. 発表標題 Digital archiving the space and memory of Kyoto across space and time using GIS
3. 学会等名 International Cartographic Conference 2019 Tokyo (国際学会) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Peter Jeszenszky・Yoshinobu Hikosaka・Keiji Yano
2. 発表標題 Lexical variation in Japanese dialects revisited: Geostatistic and dialectometric analysis
3. 学会等名 International Cartographic Conference 2019 Tokyo (国際学会) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akira Takahashi・Shumpei Yamamoto・Hiroataka Sato・aomi Kawasumi・Manabu Inoue・Keiji Yano・Asanobu Kitamoto
2. 発表標題 Learning Method that Facilitates User Understanding of Changes in the Kyoto Townscape: Utilizing a Smartphone Application with the Kyoto City Tram and Bus Photograph Database
3. 学会等名 International Cartographic Conference 2019 Tokyo (国際学会) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaru Tsuchida・Hiroataka Sato・Takahito Kawanishi・Kunio Kashino・Keiji Yano
2. 発表標題 Giga-pixel multispectral imaging using commercially available digital camera
3. 学会等名 ICOM Kyoto 2019 (国際学会) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaru Tsuchida・Hirotaka Sato・Satoshi Imamura・Takahito Kawanishi・Kunio Kashino・Keiji Yano
2. 発表標題 High resolution image retrieval + browsing and visual guide system for museum using smartphone
3. 学会等名 ICOM Kyoto 2019 (国際学会) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Weite Li・Kenya Shigeta・Kyoko Hasegawa・Liang Li・Keiji Yano・Satoshi Tanaka・Motoaki Adachi
2. 発表標題 Visual Plant Simulation based on Transparent Collision Visualization of 3D Scanned Point Clouds
3. 学会等名 The 38th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (国際学会) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keiji Yano
2. 発表標題 The Integrated Portal Site of Japanese Old Maps for Historical GIS: Using the Mitsui Collection Held by the C. V. Starr East Asian Library + University of California + Berkeley
3. 学会等名 New Frontiers in Digital Humanities for Japanese Culture and Arts (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Keiji Yano
2. 発表標題 Extending Virtual Kyoto
3. 学会等名 Seminar・Centre for Japanese Studies・University of East Anglia (招待講演) (国際学会) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 地方自治体は地理空間情報の宝庫：産官学連携の連携方法
3. 学会等名 PasCAL ユーザー会In 関西テーマ 「空間情報の流通による行政の新たな役割～働き方改革の実現に向けて～」(招待講演)(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 日本の古地図のポータルサイトの構築
3. 学会等名 地図展2019 京都「近代京都150年を俯瞰する」(招待講演)(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 人文学における地理空間情報の可視化
3. 学会等名 じんもんこん2019公開シンポジウム 科学的知見の創出に資する可視化(3)：新しい文理融合研究を創出する可視化(招待講演)(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木和人・矢野桂司・武田幸司
2. 発表標題 京都地籍図データベースを用いた明治末期土地所有者の点分布分析
3. 学会等名 第28回地理情報システム学会学術研究発表大会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 今村聡・鎌田遼・矢野桂司
2. 発表標題 日本の古地図のポータルサイトの構築
3. 学会等名 第28回地理情報システム学会学研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Old Maps Database of International Research Center for Japanese Studies
3. 学会等名 2019 International Workshop on Spatiotemporal Knowledge (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Available resources and their structure for basic temporal data
3. 学会等名 2019 International Workshop on Spatiotemporal Knowledge (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 HuTime Ontology to Represent Uncertain Time Intervals
3. 学会等名 Workshop "Ontologies for Linked Data in the Humanities", Digital Humanities Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 A Chronological Tool for Research Data Management (HuTime)
3. 学会等名 4th RsDA International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Basic information for temporal data of Japanese calendar
3. 学会等名 The 30th European Association of Japanese Resource Specialists Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 HuTime Ontology as an extension of OWL-Time
3. 学会等名 2019 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 関野 樹
2. 発表標題 時間名による時間参照基盤の構築 - Linked Dataを用いた期間の記述とリソース化
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木一織・有川正俊・高橋秋典
2. 発表標題 ユーザによる見返しに配慮した軌跡ログ表示の地理的な要約手法の検討
3. 学会等名 情報処理学会第82回全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 錦田星斗・藤田隆宏・有川正俊・高橋秋典
2. 発表標題 軌跡情報のヒートマップから算出するバーチャル・ジオフェンスの領域推定とその評価
3. 学会等名 情報処理学会第82回全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hara Shoichiro
2. 発表標題 Information Platform for Humanities Computing
3. 学会等名 International Joint Research and Training Program for Development and Application of Digital Humanities (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原正一郎・山田太造・石川正敏・白井圭佑・亀田堯寛・森信介
2. 発表標題 ビッグデータからの地域研究情報抽出の試み(第二報)
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hara Shoichiro
2. 発表標題 Trial to Quantitative Area Study
3. 学会等名 IGRES, Kyushu University Unit of Academic Knowledge Integration Studies, Kyoto University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤達哉/大森匡/新谷隆彦/藤田秀之
2. 発表標題 統計グラフ群のSmall Multiples表現による地理空間データ可視化
3. 学会等名 電子情報通信学会 2020年総合大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 秋山桂一/藤田秀之/大森匡/新谷隆彦
2. 発表標題 ネットワーク可視化のための拡大描画に適したエッジバンドリング手法
3. 学会等名 第12回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM 2020)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 秋庭武/藤田秀之/大森匡/新谷隆彦
2. 発表標題 位置情報付きSNSデータによる空間スケールに着目した地域特徴語抽出
3. 学会等名 地理情報システム学会 第28回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 貞広幸雄
2. 発表標題 点分布における点の生成と消滅
3. 学会等名 第28回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本裕稀/貞広幸雄
2. 発表標題 地方選挙における地域住民の投票行動
3. 学会等名 第29回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金子修史/對間昌宏/貞広幸雄
2. 発表標題 サッカーにおけるフォーメーションに関する分析
3. 学会等名 第30回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村太泉/貞広幸雄
2. 発表標題 酒類の味覚の地域性とその変容について
3. 学会等名 第31回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤大貴/貞広幸雄
2. 発表標題 スマートフォンのGPSデータを用いた社寺訪問者の空間分布分析
3. 学会等名 第32回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 貞広幸雄
2. 発表標題 複数種の点分布における空間的混合
3. 学会等名 日本オペレーションズ・リサーチ学会2019年秋季研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 貞広幸雄
2. 発表標題 犯行モデル構築と犯行地予測
3. 学会等名 日本犯罪心理学会第57回研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 薄井宏行, 寺木彰浩, 浅見泰司
2. 発表標題 延焼確率の確率密度関数と建物棟数密度
3. 学会等名 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2018年春季研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 馬場弘樹, 浅見泰司
2. 発表標題 街区レベル居住快適性評価指標を利用した土地利用シナリオ分析の提案
3. 学会等名 地理情報システム学会講演論文集
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroki Baba, Yasushi Asami
2. 発表標題 Estimating Optimal Population of Inter-municipal Cooperation on Waste Management in Japan
3. 学会等名 International Conference on Spatial Analysis and Modeling 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 服田帆乃香・奥貫圭一
2. 発表標題 街区沿道密度を推定する方法に関する考察
3. 学会等名 地理情報システム学会講演論文集
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei-ichi Okunuki and Fuhito Kodama
2. 発表標題 Graph analysis of an old map of castle towns in early modern Japan.
3. 学会等名 Annual Meeting of the Association of American Geographers (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei-ichi Okunuki , Fuhito Kodama and Toshiaki Sato
2. 発表標題 Toward a software tool for graph analysis of castle towns in early modern Japan
3. 学会等名 International Conference on Spatial Analysis and Modeling 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Linked open data about calendrical periods
3. 学会等名 International Workshop on Spatio-Temporal Knowledge (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 関野 樹・原 正一郎
2. 発表標題 デジタル歴史地名辞書の公開とその活用
3. 学会等名 第118回 人文科学とコンピュータ研究会発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 HuTime Tutorial
3. 学会等名 The 3rd International Workshop on the Academic Asset Preservations and Sharing in Southeast Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Representation and Comparison of Uncertain Temporal Data based on Duration
3. 学会等名 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 関野 樹
2. 発表標題 Linked Dataにおけるあいまいな時間の記述
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム 201
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 関野 樹
2. 発表標題 時間情報システム HuTime
3. 学会等名 国際シンポジウム「デジタル時代における人文学の学術基盤をめぐって」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamauchi H.・Oguchi T.・Hayakawa Y.S.・Seto T.
2. 発表標題 Development and operation of open educational resources for GIS exercises in undergraduate courses
3. 学会等名 International Conference on Spatial Analysis and Modeling 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oguchi, T.
2. 発表標題 Historical development of GIS in Japan.
3. 学会等名 ICEO-SI 2018 & IAGI 3rd Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oguchi, T.
2. 発表標題 Geographical education in Japan in relation to natural hazards and GIS
3. 学会等名 Vietnamese Institute of Geography 25th Anniversary Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山内啓之・早川裕式・小口 高
2. 発表標題 高精細地形情報とGISを用いた地形模型の製作とオープン教材の開発
3. 学会等名 第9回GIS-Landslide研究会および第5回高解像度地形情報シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上 大輔, 堤田 成政, 吉田 崇紘, 中谷 友樹
2. 発表標題 大規模データのための地理的加重回帰と住宅地価分析への応用
3. 学会等名 第27回 地理情報システム学会 学術研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堤田 成政, 村上 大輔, 吉田 崇紘, 中谷 友樹
2. 発表標題 空間統計データによる総合指標作成のための地理的加重非負値主成分分析の検討
3. 学会等名 第27回 地理情報システム学会 学術研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakaya, T., Dong, D., Brunson, C.
2. 発表標題 Geographically weighted generalized linear modelling with multi-categorical response models
3. 学会等名 International Conference on Spatial Analysis and Modeling 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Daisuke Murakami, Tomoki Nakaya, Narumasa Tsutsumida and Takahiro Yoshida
2. 発表標題 Spatially varying coefficient modeling for large data: A case study of residential land price in Tokyo
3. 学会等名 International Conference on Spatial Analysis and Modeling 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Narumasa Tsutsumida, Daisuke Murakami, Takahiro Yoshida, Andrea Emma Pravitasari and Tomoki Nakaya
2. 発表標題 Spatially explicit exploratory factor analysis on urban statistical data ? Geographically weighted approach
3. 学会等名 International Conference on Spatial Analysis and Modeling 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Glocal Information Platform for Area Studies
3. 学会等名 HeKKSaGon Multidisciplinary Joint Workshop toward Fusions between Data and Mathematical Sciences (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Digital Gazetteers as a Basis for Spatiotemporal Analysis
3. 学会等名 International Conference on Spatial Analysis and Modeling 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shoichiro Hara, Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Digital Gazetteer as a Knowledgebase for Open Data Science (2nd Report)
3. 学会等名 2018 Pacific Neighborhood Consortium (PNC) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 地域研究資源の保存と共有化に関する試み
3. 学会等名 第10回デジタルアーカイブネットワークワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 学術データの共有と利活用のための工夫～地域研究を事例として～
3. 学会等名 慶應義塾大学DMC研究センター シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 Webビッグデータからの地域研究情報抽出の試み
3. 学会等名 じんもんこん2018 人文化学とコンピュータシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 京都大学東南アジア地域研究研究所の地域研究情報基盤による「地域の知」の蓄積・共有・利用の事例について
3. 学会等名 琉球大学島嶼地域科学研究所・学内セミナー「島嶼地域科学研究所・資源データベース(仮)」の構築に向けて(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司・井田仁康・秋本弘章・浅川俊夫・久保純子
2. 発表標題 公開シンポジウム「地理総合」で何が変わるか
3. 学会等名 日本地理学会春季学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 歴史GISと新しい地理教育
3. 学会等名 GIS day in 関西 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazumasa Hanaoka and Keiji Yano
2. 発表標題 Geodesign in depopulation area: Yosano Town, Japan
3. 学会等名 International Geodesign Collaboration 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 地理教育とGIS
3. 学会等名 東海地理研究会・第420回例会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 バーチャル京都から見る三条通の景観変遷
3. 学会等名 京の三条まちづくり協議会・第42回まちカフェ (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木和人・矢野桂司・武田幸司
2. 発表標題 京都地籍図データベースを用いた明治末期の土地所有者構造分析
3. 学会等名 地理情報システム学会第27回学術研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今村聡・鎌田遼・矢野桂司・磯田弦・中谷友樹
2. 発表標題 日本版Map Warperを用いた旧版地形図の公開
3. 学会等名 地理情報システム学会第27回学術研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上杉昌也・上村要司・矢野桂司
2. 発表標題 中古不動産市場における空間的波及効果
3. 学会等名 地理情報システム学会第27回学術研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 協働によるジオデザインのフレームワーク
3. 学会等名 公開シンポジウム「グローバル時代のデータ利用と可視化」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 オープンデータの地理空間情報を活用した社会・学校GIS教育の展開
3. 学会等名 関西G空間フォーラム2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河野学、趙賢株、高田光雄、中西真弓、矢野桂司、伊丹絵美子、生川 慶一郎、式王美子
2. 発表標題 子育て世帯子育て世帯向け住宅において配慮すべき住宅部位別の設計内容 京都市の子育て世帯向けリノベーション住宅を例とし 子育て世帯に対する住宅政策関連調査研究(その2)
3. 学会等名 2018年度日本建築学会大会(東北)学術講演会・建築デザイン発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中西真弓、生川 慶一郎、高田光雄、伊丹絵美子、矢野桂司、趙賢株、式王美子、河野学
2. 発表標題 子育て世帯の住宅選択行動に関する研究 市営住宅応募者の応募者特性 - 子育て世帯に対する住宅政策に関する調査研究(その1)
3. 学会等名 2018年度日本建築学会大会(東北)学術講演会・建築デザイン発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Keiji Yano, Masaru Tsuchida, Satoshi Imamura and Masanori Yamaji
2. 発表標題 WebGIS-based Application for Comparing Rakuch #363; rakugai-zu Folding Screens
3. 学会等名 The 1st KDD Workshop on Data Science for Digital Art History: tackling big data Challenges, Algorithms, and Systems (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 地理情報システム(GIS)とオープンデータ 教育や自治体での活用
3. 学会等名 GIS day in 伊勢 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Keiji Yano and Ryo Kamata
2. 発表標題 Japanese Map Warper for Japanese Old Maps: an Open Platform for Collaborative Research in the Digital Humanities
3. 学会等名 2018 IGU Regional Conference Quebec (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 薄井宏行・樋野公宏
2. 発表標題 休憩施設の密度と最大継続歩行距離 -東京駅および大手町駅周辺地区を対象に-
3. 学会等名 地理情報システム学会第27回学術研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Usui, H.
2. 発表標題 Comparison of city boundaries based on population density aggregated in census-bureau-imposed units and natural cities of grouping buildings
3. 学会等名 International Conference on Spatial Analysis and Modeling 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Usui, H.
2. 発表標題 Are patterns of vacant building lots random? Empirical study in Chiba prefecture, the suburbs of Tokyo
3. 学会等名 Urban Transitions 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Basic linked data resource for temporal information
3. 学会等名 2017 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 関野 樹
2. 発表標題 暦に関するWeb API - 暦法の変換と期間の計算
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakaya, T., Hanibuchi, T., Honjo, K
2. 発表標題 Where neighbourhood social relations matter for your health?: A semiparametric GWR analysis on the association between neighbourhood social relationships and self-rated health in the Tokyo metropolitan region, Japan
3. 学会等名 the 17th International Medical Geography Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中谷友樹
2. 発表標題 Space-time cubeを利用した時空間カーネル密度推定および関連する分析的可視化環境の開発
3. 学会等名 第26回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 谷端郷, 村中亮夫, 中谷友樹
2. 発表標題 スペースシンタックス理論に基づく道路構造と地域住民のリスク認知との関係
3. 学会等名 第26回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 花岡和聖, 中谷友樹, 矢野桂司
2. 発表標題 時間別滞留人口分布に基づく都市空間構造の把握 モバイル空間統計の活用
3. 学会等名 第26回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村上大輔, Paul Harris, Binbin Lu, 中谷友樹
2. 発表標題 空間可変回帰係数の推定における空間スケールの重要性
3. 学会等名 第26回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中谷友樹
2. 発表標題 地理学/地理情報科学と犯罪学の連携
3. 学会等名 第54回日本犯罪学会総会シンポジウム「犯罪学の更なる発展に向けて 学際的・実践的連携を考える 」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中谷友樹
2. 発表標題 犯罪発生の時空間地図
3. 学会等名 東京都・警視庁共催 子供・女性の安全対策に関するシンポジウム「犯罪の起きにくい社会づくりの実現に向けて」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nurunnabi, A, Y Sadahiro and DF Laefer
2. 発表標題 Robust cylinder fitting in three-dimensional point cloud data
3. 学会等名 Proceedings of the International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森岡渉, 貞広幸雄, 岡部篤行
2. 発表標題 電話帳データを用いた時系列ホットスポット分析
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 貞広幸雄
2. 発表標題 空間スケール横断型の点分布記述指標群
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小池束紗, 貞広幸雄
2. 発表標題 建物名称に含まれる地名の空間分布について
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山方大志, 貞広幸雄
2. 発表標題 学力及びその分散を最適化する学区設定方法の研究
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小池束紗, 貞広幸雄
2. 発表標題 建物名称に含まれる地名の空間分布について
3. 学会等名 CSIS DAYS 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山方大志, 貞広幸雄
2. 発表標題 学力及びその分散を最適化する学区設定方法の研究
3. 学会等名 CSIS DAYS 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroyuki Usui
2. 発表標題 Statistical distribution for building lot depth
3. 学会等名 the 2018 EPB Symposium: Urban Systems Design (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 薄井宏行, 寺木彰浩, 浅見泰司
2. 発表標題 延焼確率の確率密度関数と建物棟数密度
3. 学会等名 2018年日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 薄井宏行
2. 発表標題 道路延長と街区総数
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 薄井宏行, 樋野公宏, 真鍋陸太郎
2. 発表標題 GIS操作法の教育の現状と課題 -東京大学工学部都市工学科の演習におけるArcGISとQGISの同時教育を通じて-
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 薄井宏行
2. 発表標題 継続歩行距離と休憩施設の密度基準
3. 学会等名 2017年日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 児玉 史, 奥貫 圭一
2. 発表標題 ネットワークに着目した近世城下町の空間分析
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤田秀之, 相楽翔太, 大森匡, 新谷隆彦
2. 発表標題 位置・方向情報付き写真群によるホットスポット抽出のための視線のクラスタリング手法
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Keiji Yano, Ryo Kamata and Benjamin Lewis
2. 発表標題 A Japanese Old Maps Online: Toward an Open Platform for Collaborative Research in the Digital Humanities
3. 学会等名 International Cartographic Congress 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Keiji Yano
2. 発表標題 Virtual Kyoto Platform
3. 学会等名 Open Cultural Heritage Scholarship Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野桂司, 塚本章宏
2. 発表標題 日本の古地図ポータルサイト
3. 学会等名 GIS Day in 関西 2018 & 国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司, 塚本章宏
2. 発表標題 趣旨説明：日本の古地図ポータルサイト
3. 学会等名 2017年度国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」(国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 矢野桂司, 塚本章宏
2. 発表標題 カリフォルニア大学バークレー校所蔵古地図コレクションの来歴と今後の展開 渡米からデジタルアーカイブまで
3. 学会等名 2017年度国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上杉昌也, 矢野桂司
2. 発表標題 すまいの耐震化の普及・支援のためのジオデモグラフィクスの活用
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野桂司, 鎌田遼
2. 発表標題 日本版Map Warperの構築と活用
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高橋彰, 河角直美, 矢野桂司, 山路正憲, 山本俊平, 佐藤弘隆, 今村聡
2. 発表標題 クラウドソーシングを活用した写真資料(古写真)の地理情報等の同定方法の検討とその課題 - 京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例として -
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 青木和人, 矢野桂司, 中谷友樹
2. 発表標題 京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析
3. 学会等名 地理情報システム学会第26回学術研究発表大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山本峻平, 高橋彰, 佐藤弘隆, 河角直美, 矢野桂司, 井上学, 北本朝展
2. 発表標題 古写真データベースのまちあるきへの活用
3. 学会等名 日本地理学会2018年春季学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 「バーチャル京都」の構築とその利活用
3. 学会等名 文化庁・立命館大学 共同研究キックオフ・シンポジウム「新たな文化芸術創造活動の創出」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今村聡, 矢野桂司, 土田勝
2. 発表標題 バーチャル京都を用いたデジタル・ミュージアムの展開～バーチャル平安京と洛中洛外図屏風～
3. 学会等名 平成29年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「日本文化資源のグローバルアクション」成果報告会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 デジタル地図の進化～デジタル・ヒューマニティーズの視点から
3. 学会等名 2017年度立命館大阪梅田キャンパス講座
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 歴史都市京都における地理空間科学の展開
3. 学会等名 関西G空間フォーラムin京都
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Some Experiences about Digital Humanities
3. 学会等名 International Conference on Digital Media and Charting the Geography of Power in East Asia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Information Tools for Digital Humanities
3. 学会等名 Exploring Digital Humanities Mapping Visions, Discourses, Theories (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Community Evidences to Support Sustainable Development Goals
3. 学会等名 The 2nd International Conference of Multidisciplinary Approaches on UN Sustainable Development Goals (UNSDGs 2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 地域研究情報基盤の構築と人文社会科学データの利活用
3. 学会等名 第19回情報学シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Oguchi, T.
2. 発表標題 History and recent trends of landslide susceptibility analysis using geospatial data
3. 学会等名 International Conference on Earth Observations and Societal Impacts (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Oguchi, T.
2. 発表標題 Applications of geospatial technology in geomorphology: historical review and future perspectives
3. 学会等名 9th International Conference on Geomorphology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鶴田未奈美, 貞広幸雄
2. 発表標題 観光施設における混雑緩和のための制度が観光客の行動に与える影響
3. 学会等名 地理情報システム学会2016年学研究発表大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Minami Tsuruta, Yukio Sadahiro
2. 発表標題 Study on the System for Congestion of the Sightseeing Facility
3. 学会等名 ASIA GIS Conference 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森岡渉, 貞広幸雄, 見汐翔太, 小林哲郎
2. 発表標題 サッカーの試合中における守備局面の評価 -パスの可能性に着目して-
3. 学会等名 第11回日本統計学会春季集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 貞広幸雄
2. 発表標題 複数の点分布を比較・分類する手法
3. 学会等名 日本都市計画学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nakaya, T
2. 発表標題 Detecting spatial clusters of anomalous associations: A local test for disease associative mapping
3. 学会等名 A research meeting of Applied Geographic Information Science (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中谷友樹
2. 発表標題 健康な街と不健康な街: 居住地域スケールの健康格差
3. 学会等名 京都大学財政学研究会シンポジウム「健康と主観的厚生地域差 - 地域・まちづくりの展望 - 」(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 安本晋也, 中谷友樹
2. 発表標題 公園の配分における環境正義の分析客観的および認知的な近接性と地理的剥奪指標の関係
3. 学会等名 2016年日本地理学会春季学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 安本晋也, 中谷友樹
2. 発表標題 公園の近接性における環境正義の健康格差への影響
3. 学会等名 2016年 人文地理学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 米島万有子, 桐村 喬, 安本晋也, 中谷友樹
2. 発表標題 位置情報付きTweetによる蚊の発生に関する時空間分析
3. 学会等名 地理情報システム学会第25回研究発表大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 安本晋也, 中谷友樹, 米島万有子
2. 発表標題 気候値を考慮した蚊媒介性感染症の流行リスクマップ
3. 学会等名 地理情報システム学会第25回研究発表大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中谷友樹
2. 発表標題 GISを用いた食環境指標の可能性
3. 学会等名 シンポジウム「社会経済的要因と栄養・食生活」第75回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 谷端郷, 中谷友樹
2. 発表標題 歴史都市防災研究所所蔵資料画像データベース
3. 学会等名 2016年度第4回歴史都市防災研究所定例研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 谷崎友紀, 中谷友樹
2. 発表標題 近年の新聞報道からみた社寺における盗難と火災
3. 学会等名 歴史都市防災シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ito, Y., Fukui, K., Yonejima, M., Kondo, N. and Nakaya, T.
2. 発表標題 Trends in areal socio-economic inequalities of mortality of all and main causes of death in Japan: 1995-2014
3. 学会等名 the 2016 Epidemiology Congress of the Americas
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 司若辰, 有川正俊
2. 発表標題 多様な地域マップの統合利用のための提示連続性・不連続性
3. 学会等名 日本地図学会平成27年度定期大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ruo Chen Si, Masatoshi Arikawa, Ryosuke Shibasaki
2. 発表標題 Map collaging: A framework of location-based services with heterogeneous local maps on smartphones for Spatial Storytelling
3. 学会等名 CSIS DAYS 2016
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 英国のPostcodeから何が分かるか？ - 地理空間情報活用の最前線
3. 学会等名 第3回立命館セミナー・シリーズ（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 SHOICHIRO HARA and AKIHIRO KAMEDA
2. 発表標題 Platform for Humanities Open Data
3. 学会等名 International Symposium on Grids & Clouds 2017（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Linked Open Data for Knowledgebase
3. 学会等名 PNC 2016 Annual Conference and Joint Meetings（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 デジタル・ヒューマニティーズと地域研究
3. 学会等名 第79回京都大学丸の内セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 地域研究情報基盤による「地域の知」の蓄積・共有・利用の事例について
3. 学会等名 むすび、ひらくアジア2：アジアの 共有 ・知の 共有 （招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sekino, Tatsuki
2. 発表標題 Linked Data of Temporal Information
3. 学会等名 PNC 2016 Annual Conference and Joint Meetings (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sekino, Tatsuki
2. 発表標題 Time Information System on the Web
3. 学会等名 PNC 2016 Annual Conference and Joint Meetings (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 関野樹
2. 発表標題 Web HuTime - 時間情報のためのWebプラットフォーム
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 関野樹
2. 発表標題 Web上での時間情報システムHuTimeの利用
3. 学会等名 第111回 人文科学とコンピュータ研究会発表会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 奥貫圭一
2. 発表標題 建物周り建ぺい率の算出～基盤地図情報を活用して
3. 学会等名 日本都市計画学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 児玉 史, 奥貫圭一
2. 発表標題 次世代歴史GISへ向けた空間分析手法の検討 近世高知城下町を事例に
3. 学会等名 地理情報システム学会第25回研究発表大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yuan Qiu, Tadashi Ohmori, Takahiko Shintani, Hideyuki Fujita
2. 発表標題 Pairwise Expansion: A New Topdown Search for mCK Queries Problem over Spatial Web
3. 学会等名 the 18th Asia Pacific Web Conference (APWeb 2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 赤木正幸, 浅見泰司, 谷山智彦 (編)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 プログレス	5. 総ページ数 242
3. 書名 不動産テックを考える	

1. 著者名 村上征勝監修 / 金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 832
3. 書名 文化情報学辞典	

1. 著者名 貞広幸雄, 山田育穂, 石井儀光	4. 発行年 2018年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 none
3. 書名 空間解析入門 都市を測る・都市がわかる	

1. 著者名 中谷友樹	4. 発行年 2017年
2. 出版社 警視庁	5. 総ページ数 13
3. 書名 警視庁子ども・女性の安全対策に関する有識者研究会提言書	

1. 著者名 貞広幸雄、石井儀光、山田育穂(編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 -
3. 書名 空間解析入門	

1. 著者名 Yasushi Asami	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 288
3. 書名 The Virtual and the Real in Planning and Urban Design: Perspectives, Practices and Applications	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>日本版Map Warper  <a href="https://mapwarper.h-gis.jp/">https://mapwarper.h-gis.jp/</a>  Maplat  <a href="https://maplat.h-gis.jp/#!s:BL_01_0279/b:osm/x:-14645257.335796822/y:10233736.425885268/z:0.9211806574250792/r:-18.88577618705139">https://maplat.h-gis.jp/#!s:BL_01_0279/b:osm/x:-14645257.335796822/y:10233736.425885268/z:0.9211806574250792/r:-18.88577618705139</a>  ARC地図ポータルデータベース  <a href="http://www.dh-jac.net/db/maps/search_portal.php">http://www.dh-jac.net/db/maps/search_portal.php</a></p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	山田 育穂  (Yamada Ikuho)  (00594756)	東京大学・空間情報科学研究センター・教授   (12601)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	貞広 幸雄  (Sadahiro Yukio)  (10240722)	東京大学・大学院情報学環・学際情報学府・教授    (12601)	
研究分担者	中谷 友樹  (Nakaya Tomoki)  (20298722)	東北大学・環境科学研究科・教授    (11301)	
研究分担者	村山 祐司  (Murayama Yuji)  (30182140)	筑波大学・生命環境系（名誉教授）・名誉教授    (12102)	
研究分担者	有川 正俊  (Arikawa Masatoshi)  (30202758)	秋田大学・理工学研究科・教授    (11401)	
研究分担者	矢野 桂司  (Yano Keiji)  (30210305)	立命館大学・文学部・教授    (34315)	
研究分担者	原 正一郎  (Hara Shoichiro)  (50218616)	京都大学・東南アジア地域研究研究所・教授    (14301)	
研究分担者	関野 樹  (Sekino Tatsuki)  (70353448)	国際日本文化研究センター・総合情報発信室・教授    (64302)	
研究分担者	薄井 宏行  (Usui Hiroyuki)  (70748219)	東京大学・大学院工学系研究科（工学部）・助教    (12601)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小口 高 (Oguchi Takashi)  (80221852)	東京大学・空間情報科学研究センター・教授  (12601)	
研究分担者	奥貫 圭一 (Okunuki Keiichi)  (90272369)	名古屋大学・環境学研究科・准教授  (13901)	
研究分担者	藤田 秀之 (Fujita Hideyuki)  (90431840)	電気通信大学・大学院情報理工学研究科・准教授  (12612)	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 International Workshop on Spatio-Temporal Knowledge, 2018	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 The 3rd International Workshop on the Academic Asset Preservations and Sharing in Southeast Asia, 2018	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 International Workshop on Data-Intensive Urban Studies: DIUS, 2019	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 iPRES2017	開催年 2017年～2017年

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
米国	University of California Berkeley	San Diego State University		
アイルランド	National Centre for Geocomputation			
マレーシア	University Teknologi MARA			
その他の国・地域	台湾（中央研究院）			
アイルランド	National Centre for Geocomputation			

共同研究相手国	相手方研究機関			
台湾	國立台湾大学			
台湾	国立中央大学			
台湾	國家災害防救科技中心			
中国	華僑大学			